

2018年7月5日

アジア格付機関連合とアジア銀行協会のワークショップで講演

アジア格付機関連合（ACRAA）とアジア銀行協会（ABA）が共同で本年6月28～29日に台北で開催したワークショップ「銀行の格付と分析（Bank Rating & Analysis）」にて、株式会社日本格付研究所（JCR）の宮尾知浩金融格付部チーフアナリストが「日本の銀行セクター」にかかる講演を行いました。

同ワークショップは、ACRAAとABAのメンバーを対象に、格付会社のアナリストが、銀行分析の枠組みや視点、並びに、中国及び日本の銀行セクターについて解説を行ったものです。同時に、IFRS第9号の導入やBasel III枠組みの見直しといった、メンバーの関心の高いトピックにかかる情報共有も行われました。8ヵ国・地域から50名超が参加し、活発な議論が交わされました。

JCRからは、ACRAAの会長を務める仲川聡社長特別補佐（グローバル戦略担当）、及び、宮尾チーフアナリストが出席しました。宮尾チーフアナリストは、日本の銀行セクター、特にバブル崩壊以降の展開や銀行の破綻事例を紹介し、金利水準や地価の変動が銀行に与える影響や、融資先の分散を丁寧に確認する重要性について、強調しました。

ACRAAは、JCRの主導により、2001年に設立されたアジアの格付機関による業界団体であり、継続的に、トレーニング・ワークショップを開催しています。同ワークショップの参加者は、近年では、金融セクター全体の信用分析力の向上に貢献すべく、格付機関以外にも開放しています。ACRAAやトレーニング・ワークショップの詳細については、ACRAA (<https://www.jcr.co.jp/service/international/acraa/>) またはJCRまでお問い合わせ頂ければと思います。

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル



Bank Rating & Analysis Workshop
28-29 June 2018, Grand Hyatt Taipei, Taiwan

